

赤江 公民館だより

赤江地区民 みんなの合言葉

- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28 - 8982
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp

No.153 令和6年 1月号

館長のよもやま話



新年、明けまして、と言いたいところですが、1月1日(火)、16時過ぎでしたか、北陸、石川県沖での大震災との報道、本当に驚きました。この安来では、それほどの揺れもなくマスコミをとおして、初めて知ることとなりました。翌日は、更に、羽田空港でも衝突事故、その翌日でしたか福岡の小倉での火災と、予期せぬ災害が続くという、何という辰年の始まりかという気持ちになりました。

ただ、こんな話しをすることは、不謹慎とも思いながら、以前の鳥取西部地震のことを思い出します。その日、私はたまたま、東京に出張した帰りの電車内のテレビ?の中で初めて知りました。即、我が家に携帯電話するものの通信できず、ただ、幸いにも帰りの便を「寝台やくも」の乗車券を持っていたので、帰ることができました(そのころは山陰線でした)。被害のあったお宅もありましたが、我が家は本棚がめちゃくちゃになる程度の被害でした。

本当に、今年は、どんな年になるのでしょうか。と思いながら、前回以降の事業のお話を致します。

確か、前回は、『クリスマスコンサート』でマンドリンコンサートをしていただいたお話で終わったように思っています。マンドリンの音色を聞くと、私の年代では、あのアランドロンの代表作(題名は忘れました、太陽...?)の曲が思い出されます。

さて、12月22日(金)、めだかクラブの『クリスマス会』として、食事会と餅つきという、大変ハ



餅つきの様子

ードな事業を行いました。日頃からボランティアとして協力いただいている方にお願ひし、めだかクラブで栽培

したもち米を使った「おこわご飯」と「豚汁」を作ってもら一方で、「餅つき」は寿朗会の皆さんと安来高校の野球部諸君にも協力いただきました。ちょっとドタバタで大変でしたが、自己満足ですが、子供たちには、喜んでもらえたと思います。



安来高校野球部の野球体験の様子



おまけに、翌日 23 日(土)には、『しめ縄づくり』を行いました。お陰様で 26 名の方に参加していただきました。私が、個人的に参加を勧め、I ターンで同じ自治会でイチゴ栽培に頑張っておられる親子で参加していただきました。

また、おまけに翌日の 24 日(日)には、直接、交流センターの事業ではありませんが、更生保護女性会安来支部赤江主催の『子ども食堂』に、ぶしつけにも昼食をいただきにお邪魔しました。この赤江でどれだけ食事に不便を感じておられる人がいるのか私には分かりませんが、



しめ縄づくりの体験の様子

こうしてご努力いただいた皆さんから、美味しくて食事を一緒にいただくことで、楽しさを感じ

ずることを共有することの大切さは、大変意義深いものと感じさせられました。



子ども食堂の体験の様子

そして、翌々日となる26日(火)、日ごろ教室で指導されている方から正月用のフラワーアレンジメントと、ド素人の私が、男性相手(本当は女性の方の参加を希望していましたが)の正月用盆栽作りを昨年度に引き続き行いました。事前に購入した「梅の苗」を我が家でハウスで加温させることで、正月に開花した梅を使うことができました。



正月用盆栽作りの様子



正月用のフラワーアレンジメント教室の体験の様子

以上のように年末、バタバタしたことで、すっかりどじょこテレビの交流センターの年始のご挨拶の収録のことをすっかり忘れていました。収録に来られた方の姿を見ても、「何しに来られたかな」と思いながら、後でようやく今日が収録日であることを気づき、全くいつもの服装で新年のご挨拶となりました。

1月14日(日)、加工クラブの皆さんのお世話で、「ポン酢&お手軽キムチ作り」ということで、農産加工の実習をしてもらいました。私は少し遅れての参加となりました。出かけた時には既に、ゆず味噌で使用するゆずの加工という段階でした。

今回の講座に合わせて、12月中におおかたのゆずの下準備をしていたでいていました。ゆずを使ったでポン酢とマーマレードに加え、白菜の塩漬けにさきイカ等を混ぜるだけの手軽に作れるキムチも教えてもらいました。終わりのお茶会の時には、ゆずの種を使った化粧水のこと等、色々とお話を聞くことが出来ました。



ポン酢&お手軽キムチ作りの様子

どうも、少し余裕のスペースがありそうなので、個人的なことを書かせてもらいます。一昨年となりますが、いつもの一人旅で、北陸の神社仏閣巡りをしました。紅葉の時期を少し過ぎたところで、観光客も少ないと思い、二泊三日でもう疲れぎみの自家用車で出かけました。五木寛之という作家の「百寺巡礼」に取り上げられている北陸のお寺を回りました。そのほかにも曹洞宗の総本山の「総持寺」にもお参りしましたので、今回の地震は衝撃でした。あの海岸に沿った高い山の道や山手に入った道が、今どうなっているのか、思い返されました。この日本には、様々な地域が存在しており、いつどんな状況におかされるかは分かりません。災害用の備蓄と言えば、我が家にあるのは水と米と野菜程度です。緊急事態が生じた場合、まずは、我が家の最低限の準備だけは必要だと思いました。また、残念ながら、交流センターは多くの方々を受け入れできる体制にはありません。わが身、わが家族を最後まで守れるのは自分たちだという意識も必要だと思いました(あくまでも個人意見です)。最後に、今年は「辰年」、飛躍できる年とも思いましたが、ゴジラではないですが、社会を揺らす年かもしれません。

と言いながら、赤江交流センターも、できるだけ多くの皆さんに活用していただけるよう頑張りたいと思います。是非、今年も活用して下さい。そうそう、1月4日(木)、一団体の方が予約されていました。正月そうそう、休日等の鍵管理をお願いしている方に無理を言ってはと思い、私に対応しましたが、どうも利用された方を後で主事に聞いたところ、20才の集いのあとでの集まりの会として使われたようです。17時に玄関をあけ、22時過ぎ、家内に送ってもらい(すでに酒を飲んでました)、状況を見に行ったところ、皆さんすでにきちんと施錠され、玄関前で迎えを待っておられました。あまりにもすがすがしさを感じて、「また、使って下さい」と言ってしまいました。こんな形で交流センターの活用もありかと思いました。ただ、公共施設ということ考えた節度ある活用が前提ではありますが、昨年から、有志の皆さんのお世話で、毎月「ちょこっと喫茶」を開いていただいています。色々な地域の皆さんが集える場づくりが必要かと思っています。

と、随分正月そあそう長くなりました。反省の限りです。次回は、節度ある書き方をしたいは思っています。最後まで読んでいただいた方に感謝し、今年も頑張ってお伝えしたいと思っています。

おしらせ 2月の行事予定

- 1日(木) ちょこっと喫茶
- 3日(土) 男子塾「そば打ち体験」
- 17日(土) 女子カフェ「パン教室」(1月回覧のチラシをご覧ください)